

# 田尻だより

平成 17 年

9月 号

Vol. 30

次回の田尻便りは  
10月発行予定!

新秋の候、田尻では夜ごと虫の音が美しく響いております。

早い田んぼでは垂れた稲穂が少しずつ色づき始めていますが、私たちの田んぼではまだ穂も青く、初秋の日差しを懸命に浴びております。この時期の晴天が、おいしいお米を作ってくれます。

8/14 生き物調査 ↓

早春に卵を産むニホンカガエル。この時期は小でな



成体が大きくなると、一方で、産卵を控えたお腹の大きなメスも発見。

〔田んぼの変化〕  
8月から9月にかけて、私たちの田んぼはようやく他の田んぼに追いつき追い越します。私達は少ない本数の苗を幅広く植えるので、最初はとても貧相に見えるのですが、稲自身は広々とした地面に広く深く根を張り、旺盛に養分を吸収します。太く丈夫な茎がまっすぐに伸び、青々とした葉が隙間を埋めるように茂り、みずみずしい

い稲穂がでてくる頃、私たちの稲は他に比べふた回りほど大きく、頑丈な株に成長します。根が丈夫だからこそ、稲自身も丈夫です。

このころには、今年生まれた生き物たちも成熟し繁殖の時期を迎えます。また、あぜで過ごしていた生き物たちも田んぼの中で生活を始めるので、田んぼはより一層複雑になり、豊かな生命の営みが繰り広げられています。

トウキョウダルマガエルに至っては、お腹の大きなメスだけでなく、オタマジャクシも発見。



自然界って不思議...

## 米 曆 ~こめごよみ~

- 8月9日 出穂始め
- 8月14日 生き物調査をしました
- 8月20日 穂揃い
- 8月30日 生き物調査をしました

穂が出始めてからしばらく曇天や雨などが続いたため、穂が出揃うまでに日数がかかりました。今年は収穫が例年より少し遅れそうです。

## 嫁日記

今年、私は生き物調査の担当者になりました。調べるのはもちろん小野寺家の田んぼ。最初の頃(6月頃)は、いろんな人たちと一緒に調査していたのですが、近頃はひとりぼっちです。

\*\*\*

そんな訳で調査に行く前は少し憂鬱。そこで皇貴くん

やさくらを誘うのですが、1回の調査に結構時間がかかるので、最近はお断りされるようになりました。

\*\*\*

何でそんなに時間がかかるのかというと、上手く写真が撮れないから。カメラを構える間に逃げられたり、ブレたり、ピントが合わなかったり…。カエルの写真一枚にこの苦勞。トホホ...